

25 地方自治体

鹿児島県総務部市町村課

竹村 智之

Challengeの中にChangeあり



■ 仕事の内容

離れること1,000km

「国家公務員でありながら地方自治体のために働ける。」その言葉に惹かれて総務省に入った私は今、国家公務員ではなく地方公務員として、しかも東京から1,000kmも離れた鹿児島県庁で働いています。「働くなら一つの勤務地に留まらず、色々な経験をしたい。」と思って就職活動をしていた昔の私も、ここまで遠く離れた地での勤務は想像していなかったと思います。

そんな私の現在の業務は、各市町村の財政状況の分析、財源確保のための地方債に関する手続き、財政負担を減らす交付金の事務等、市町村の要である財政運営の手助けをするものです。市町村の方と一緒に悩み、市町村と国の間に入って調整をし、時には覚えたての専門用語を使って精一杯助言をしています。総務省職員として必要な「地方自治体のために」という感覚をより身近で感じている毎日は、悪戦苦闘の日々ですが、市町村の方の想いに応えられた時は何とも言えない達成感を得ています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

やらない後悔よりやって後悔！

当初私は自治体職員を目指しており、正直総務省の事は就職活動の中で知った位でした。ただ、なぜか「国家公務員でありながら地方自治体のために働ける。」という言葉に強く惹かれ、自治体志望にも関わらず総務省を訪問する事に躊躇いはありましたが、「折角興味を持ったのだから話を聞かないと後悔する。」と思い、総務省の門を叩きました。直接聞く職員の方の体験談はどれも自分が惹かれた言葉を強く感じさせるもので、帰る頃には「総務省で働いてみたい。」と考えていました。

入省時に配属された自治財政局では、震災直後ということで、通常業務、そして震災対応に職員皆が昼夜を問わず全力を注いでいました。「地方自治体のために」という想いで必死に働く先輩達に何とかついて行った一年でしたが、同時に、自分が思い描いた総務省のイメージは間違っていなかったと強く実感した年でした。

迷ったら、まずは話を聞きに来て下さい！そこから何かが変わります！

■ PRIVATE TIME

鹿児島は温泉が豊富なので、仕事終わり・休みの日には市内外の温泉によく行きます。また県内の市町村を回り、美味しい食べ物や綺麗な自然に癒やされています。鹿児島は離島も多く、行きたい場所がありすぎて困る位です。泳ぐのも好きで、県庁の人を中心にしたサークルに参加していて、夏には桜島から鹿児島磯海岸まで4.2kmを泳いだりもしました。



■ PROFILE Tomoyuki Takemura

平成23年4月 総務省採用
自治財政局財政課総務室
平成24年4月 自治財政局地方債課
平成25年4月 現職

とある一週間

■ MONDAY

起債のヒアリング。市町村が提出した書類を確認し、説明を受けます。

■ TUESDAY

国からの照会の回答準備。上司から詳しい説明を求められ慌てて市町村に確認。

■ WEDNESDAY

明後日からのヒアリングの段取りに係内を確認。赴任したてでも総括です。

■ THURSDAY

選挙事務の応援で日帰りの出張。自分は世界遺産屋久島へ投票用紙送達です。

■ FRIDAY

公営企業のヒアリング。市の担当課総出に対して自分一人での対応は緊張です。